



2022年11月14日

各位

会社名 株式会社ヤマウラ
代表者名 代表取締役社長 山浦 正貴
(コード番号1780 東証プライム 名証プレミア)
問合せ先 専務取締役管理本部長 中島 光孝
電話番号 0265-81-6070

**第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2022年8月10日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計の業績予想と実績との差異ならびに通期連結業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値と実績値の差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	11,100	700	750	490	25円89銭
実績値(B)	12,555	1,139	1,186	802	42円42銭
増減額(B-A)	1,455	439	436	312	—
増減率(%)	13.1	62.7	58.1	63.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	11,284	1,175	1,230	853	45円12銭

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	23,000	1,590	1,710	1,120	59円17銭
今回修正予想(B)	27,500	2,185	2,275	1,490	78円72銭
増減額(B-A)	4,500	595	565	370	—
増減率(%)	19.6	37.4	33.0	33.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	27,946	2,123	2,317	1,495	78円99銭

3. 差異の理由

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、連結子会社における開発事業等売上高が好調に推移し、受注高増加に伴う完成工事高の増加と合わせて売上高が12,555百万円となりました。売上高の増加に加えて、工事原価の低減更に固定費の削減にも努めた結果、営業利益1,139百万円、経常利益1,186百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、802百万円となりました。

2023年3月期第2四半期累計連結業績の結果を受けて通期連結業績予想を修正するものであります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上